

2024 年 第 3 回 東京支部理事会開催

9 月 13 日 (金) 16 : 20 より、集合会議 (LINE ヤフー会議室) にて、2024 年 第 3 回 東京支部理事会が開催され、23 名が参加しました (議事録については本ページ末のリンク先参照)。

最初に、前回理事会議事録について審議され、承認されました。続いて、Japan Council 理事会 (2024 年第 2 回) 報告、および、2024 年の東京支部における会計の中間報告が行われました。また、各委員会と Affinity Group から活動報告あり、質疑応答が行われました。Nominations Committee では次期東京支部役員・理事候補者指名手続きが進められており、候補者の追加募集について応募はなく、現在の候補者で次回の第 4 回東京支部理事会にて正式に候補者が承認される流れとの説明がありました。そのほか、SIGHT (Special Interest Group on Humanitarian Technology) 開催報告、IEW (Industry Engagement Workshop: 旧 MAW) および R10 SYWL (Students, Young Professionals, Women In Engineering and Life Members) 2024 開催報告、HTC (Humanitarian Technologies Conference) 2025 準備状況、VICS2025 準備状況について説明が行われました。



第 3 回 東京支部理事会参加メンバー集合写真

理事会議事録 [リンク先](#)

■ 2024 年東京支部理事会の予定

・第 4 回 12 月 10 (火) 機械振興会館

2024年 第08回東京支部講演会開催

東京支部 TPC (Technical Program Committee)主催で、9月24日(火) 15:00~16:30において、バーチャル会議システム Zoom Webinar により、2024年第8回 東京支部講演会を開催いたしました(共催: IEEE 東京支部 LMAG(Life Members Affinity Group))。約80名が参加されました。

本講演会では、東京工業大学工学院システム制御系(*)の教授で、2023年に IEEE Fellow を受賞された中臺一博様をお招きし、「ロボット聴覚: ロボットの耳の機能構築とその多面的な新展開」と題してご講演を頂きました。ご講演では、ロボット聴覚の概要と、その進展について事例を交えながら分かりやすくご解説頂くとともに、その社会実装についても災害救助や環境モニタリングへの応用などについてご紹介を頂きました。

今回は、Zoom Webinar のオンラインとして開催いたしました。今後は、対面での交流の場としてもご活用頂けるよう、ハイブリッド開催も含めて設定して参りたいと思います。

(*) 東京工業大学は 2024/10/1 に統合により東京科学大学に名称変更

(報告: Technical Program Committee Secretary 秋田 耕司)

The image displays a presentation slide and a video frame. The slide is divided into two main sections: 'ロボット聴覚 1.0 - 音環境理解' (Robot Hearing 1.0 - Sound Environment Understanding) and 'ロボット聴覚 4.0 - 極限音響' (Robot Hearing 4.0 - Extreme Acoustics). The first section includes a diagram of auditory scene analysis (ASA) showing 'Auditory events generate individual streams' and 'We hear a mixture of sounds', with processes like 'Mixing' and 'Sound stream segregation (分離)'. It also lists '音をストリームとして知覚するが、入力は混合音' (Perceiving sound as streams, but input is mixed sound) and 'ゲシュタルト(形態)原理: 形を全体像から直感的に捉える responsive システム' (Gestalt principle: intuitively capturing shape from the whole image responsive system). The second section, 'ロボット聴覚 4.0 - 極限音響', features a grid of disaster images with dates: 四川, 中国 (May '08), 東日本大震災 (Mar. '11), 熊本 (Apr. '16), and 熊谷 (Jan. '24). It lists key findings: '多くの災害が世界中で発生 (地震など)' (Many disasters occur worldwide (earthquakes, etc.)), '交通機関麻痺, 緊急車両も走行不可' (Transportation paralysis, emergency vehicles also cannot run), and '「The Faster, The Better」: 三日以内に人命救助が必要 (Golden 72 hours)' (The Faster, The Better: Human rescue required within 72 hours). A specific finding is noted: 'One day faster claim = 6 months faster repair (Prof. R. Murphy)'. At the bottom, it mentions 'IMPACT タフロボティクスチャレンジ (PM 田所先生) [2014-2019]' and '極限音響グループ(リーダー: 奥乃先生)'. The video frame on the right shows a man with glasses, identified as '中臺一博氏' (Mr. Kazuhiko Nakata).

IEEE東京支部事務局からのお知らせ

Tokyo Bulletin はメールにて発行させて頂いております。

東京支部では会員の皆様のシニアメンバーへのアップグレードを推奨しております。本部ホームページ上で [Online 申請](#) ができます。詳細については [Senior Member 申請方法](#) をご参照ください。

住所等のご変更は、必ず IEEE 本部に届け出てください。 [Web Account](#) にサインインし、Profile メニューからのご変更が可能です。

会員の皆様からのご意見、ご要望などのお問い合わせは tokyosec@ieee-jp.org までお願いいたします。